

## 2006年度 第4回 西東京ボランティア・市民活動センター運営委員会会議録<確定稿>

開催日時：2006年7月11日(火) 午後7時15分～8時30分  
開催場所：西東京ボランティア・市民活動センター活動室  
出席委員：阿部靖子、熊田博喜、坂口和隆、瀧島喜重、安岡厚子、柳澤正樹  
<以上6名、敬称略、あいうえお順>  
欠席委員：飯塚 睦、山下恭子 <以上2名、敬称略、あいうえお順>  
事務局：齊藤 睦(地域福祉課長)、中澤一郎(主事)、今林朝香(コーディネーター)  
平田典子(コーディネーター)、丸木 敦(係長)

### 配布資料

資料 1：西東京ボランティア・市民活動センター事業月次報告(6月)  
資料 2：コーディネート状況等月次報告  
資料 3：西東京ボランティア・市民活動センター予定表(7月)  
資料 4：2006年度第2回災害時のシステムづくり専門委員会会議録<確定稿>  
資料 5：2006年度第3回西東京ボランティア・市民活動センター運営委員会会議録<未定稿>  
資料 6：収益事業および2007年度事業の検討内容について

委員長：今から第4回運営委員会を開催する。審議事項だが収益事業についてと、補助金申請の関係があるので来年度事業について審議をしたい。

## 1. 報 告 事 項

### (1).西東京ボランティア・市民活動センター業務報告

事務局より、資料1に基づき6月の業務報告を行う。以下、質疑、意見交換を行う。

委員長：夏！体験ボランティア参加者は今までに比べて多いのか。

事務局：例年よりは多い。

委員長：武蔵野大学からの参加者はあるか。

事務局：現在では1名の参加があった。

委員長：では次にコーディネート状況の報告をしてほしい。

資料2に基づきコーディネート状況報告を行う。

コーディネート状況についての質問、意見無く、6月の業務報告を終了する。

委員長：では、続いて7月の事業予定の説明をしてほしい。

事務局より、資料3に基づき7月の事業予定を説明する。

質問、意見無く業務報告を終了する。

## (2). 災害時のシステムづくり専門委員会活動報告

事務局より、資料4に基づき災害講演会の報告および第2回災害時のシステムづくり専門委員会(以下、災害専門委員会と表記)の協議内容について報告がある。

委員長：災害専門委員会を7月に開催するのか。

事務局：7月は開催されない。

事務局：先の報告の補足だが、5月に行った講演会を今年度中にもう一度開催することを企画している。具体的になった段階で報告をする。

他に質問、意見なく災害専門委員会の活動報告を終了する。

## 2. 審 議 事 項

### (1). 2006年度第3回西東京ボランティア・市民活動センター運営委員会会議録について

資料5により、第3回西東京ボランティア・市民活動センター運営委員会会議録の確認を行う。

訂正等の意見なく、第3回西東京ボランティア・市民活動センター運営委員会会議録(未定稿)を確定稿とする。

### (2). 収益事業への取り組みについて

事務局より、資料6に基づき収益事業(案)について説明、提案される。

委員長：今年度の収益事業はどのようなものか。

事務局：ぼらんていあ倶楽部の広告掲載料、市民まつりでの物品販売、メールボックス貸し出しによる利用料等となっている。

委員：防災用品の使い方講座や非常食の試食などを行ってはどうか。

委員長：市では防災用品の斡旋をしているのか。

事務局：斡旋しているかどうかはわからないが、保谷保健福祉総合センターに防災用品を展示している。

委員：防災用品の通信販売はできないだろうか。実物を見て選んでもらうという方法は効果があると思う。

委員：企業と組んで防災用品の販売はできないか。

委員：企業の立場では、販売スペースを提供することはできるのではないかと思う。

委員：検討してはどうか。

事務局：検討したい。

委員：インターネットを活用することもできるのではないか。

委員長：防災用品の業者との交渉はどうなるのか。

事務局：すでにいろいろな事業を行う際に業者とのつながりができているので、個別に交渉することはできると思う。

委員：できるところからやったほうがよい。

### (3). 2007年度事業について

事務局より、資料6に基づき、2007年度事業についての事務局案を説明、提案する。

委員：コーディネートはどのような方法で行っているのか。

事務局：電話、メール、ファックス使って行い、ぼらんていあ倶楽部にボランティア募集情報を掲載している。

委員：ぼらんていあ倶楽部の発行部数を増やすということは紙質を落とすことを考えているのか。

事務局：そういったことは今は考えていない。

委員：他地区のボランティア・センターが発行している情報紙を見たが、紙質は悪いが情報量が多い。

委員長：伝える内容によって媒体を差別化していくことが必要だと思う。西東京市内でイベント情報を発信しているところは、タウンウェブと東興通信だけだと思う。ボランティアや市民活動のポータルになることを目指すことは良いと思うが、市内に限らず近隣5市くらいの情報を掲載していくことが必要だと思う。インターネットでイベント情報を掲載する方法として、ブログもその一つだと思う。ホームページとブログの併用を考えたほうがよいのではないか。

委員：掲示板の活用はしていないのか。

事務局：イベントや講座の案内をする際に社会福祉協議会掲示板68ヶ所と市の掲示板80ヶ所を活用している。

委員：市役所等の公共施設のロビーには意外と人が集まっている。そういう場をもっと活用したほうがよいと思う。

委員：田無総合福祉センター1階のロビーを活用してはどうか。

委員長：アスタにパンフレットスタンドを置けないだろうか。

事務局：田無総合福祉センターの1階部分は市に交渉してみる。

委員長：武蔵野大学にはパンフレットスタンドはあるか。

委員：パンフレットスタンドはあるがほとんど活用されていないのが現状である。

委員：ホームページのアクセス数はどのくらいか。

事務局：調べていないのでわからない。

委員：どこからアクセスしているのかを調べることによって、そこの関係を強化することが必要ではないか。ぼらんていあ倶楽部の活用のされ方を調べることも必要だと思う。日常的に情報を集めることが大切でその方法をどのようにするのかを考える必要がある。

委員：企業では、地域情報を掲示することは可能。

委員長：先日、東興通信の記者とあった際、ボランティア・市民活動センターと何かやりたいということを書いていた。いずれ話があるかもしれない。東興通信に掲載された記事をボランティア・市民活動センターのホームページに掲載するなどしてもよいのではないか。

委員長：リサイクル品に取り組むのであれば子ども服を扱うとよい。

委員：広報のあり方については、運営委員会でも検討していくのか。

事務局：ぜひ検討していただきたい。

委員長：親子ボランティアについてはかなりのニーズはあるのではないだろうか。

委員：以前、社会福祉協議会が行っていたと思うが、男の料理教室は人が集まるのではないだろうか。料理を通してボランティア活動に結びつけてはどうか。高齢者と会食をするようなボランティアを育ててはどうか。

委員長：おもちゃドクターや食育をテーマとした講座を行ってはどうか。子育て関係の講座がよい。

委員：音楽療法の講座、絵画療法の講座を受けたボランティアは施設等で需要があると思う。

委員長：2007年度の事業を事務局で再度考える時に、今日、各委員から出された意見を参考にしたい。

以上をもって、2006年度第4回西東京ボランティア・市民活動センター運営委員会の審議を終了し、散会する。